

開講時期 前期	授業科目 総合科目Ⅲ 男女共同参画社会とジェンダー Gender Equal Society and Gender	担当教員 中山 慶子ほか
授業目標 男女ひとり一人が対等な立場で、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」(Gender Equal Society)の実現は、今日のグローバル社会における普遍的な理念であり、21世紀日本社会の最重要課題である。この授業では、男女共同参画社会およびその中心的概念であるジェンダーについての理解を深め、男女共同参画社会の実現に向けて取り組む問題意識と意欲を培うことを目標とする。		
授業概要 まず前半では、男女共同参画社会の意義と必要性、ジェンダーの視点の重要性、男女共同参画社会の形成と展開に関する世界と日本の動き、大学における男女共同参画の課題、男女共同参画社会の法的な根拠などを概観し、男女共同参画社会の基礎について学ぶ。それをふまえて後半では、より視野を広げ、男女共同参画社会の実現に向かおうとする今日の社会の現状と課題について、さまざまな領域にわたるテーマを設定し、それらの諸問題をジェンダーの視点から批判的に分析、考察する。		
授業方法 オムニバスの講義形式で行う。学内、学外からさまざまな講師を招き、それぞれの専門分野の立場から男女共同参画社会とジェンダーについて幅広く論じてもらう。		
授業展開 1. イントロダクション 2. 男女共同参画社会とジェンダーの視点 3. 男女共同参画社会の形成と展開～世界と日本の動き 4. 男女共同参画社会と大学 5. 男女共同参画社会と法～男女雇用機会均等法から男女共同参画社会基本法へ 6. 自然科学とジェンダー 7. 歴史とジェンダー～女性史を中心に 8. 家族とジェンダー 9. 労働とジェンダー～感情労働を中心に 10. マイノリティとジェンダー 11. マスメディアとジェンダー 12. 市民活動とジェンダー 13. 性暴力とジェンダー 14. 国際法秩序とジェンダー 15. グローバリゼーションとジェンダー～まとめ		
履修条件 特になし		
評価方法 毎回の小レポート(講義要旨及び感想)、個人レポート		
テキスト 特定のテキストは用いないが、参考書については各教員が適宜授業で指示する。		
備考		